

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

神奈川県 茅ヶ崎市

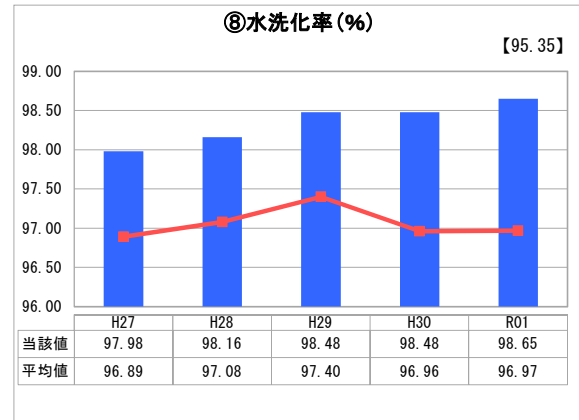
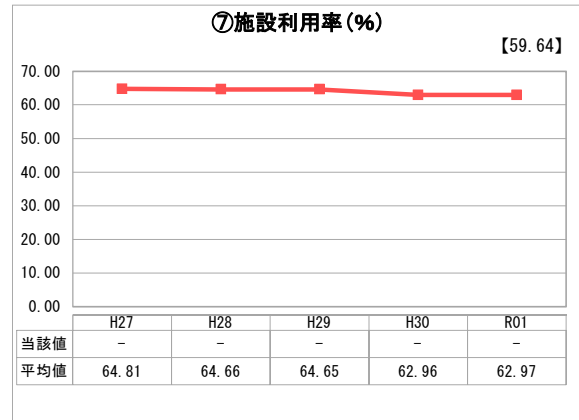
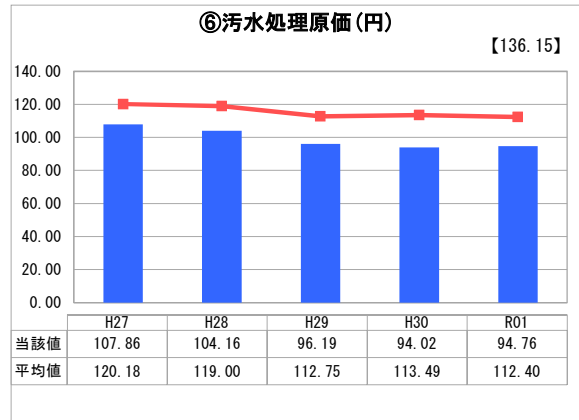
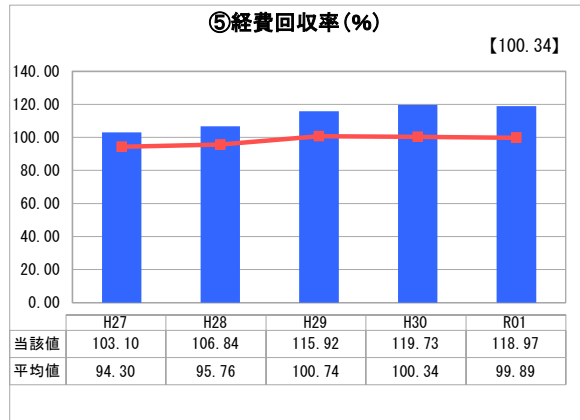
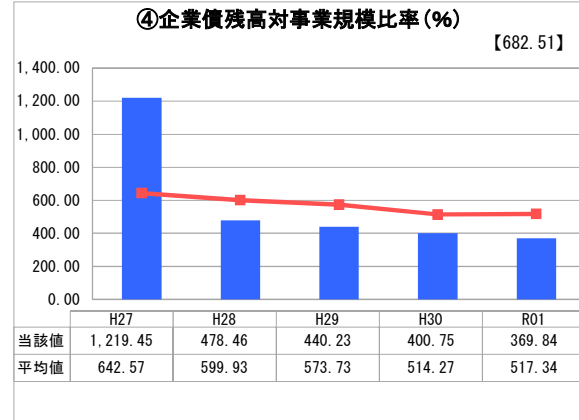
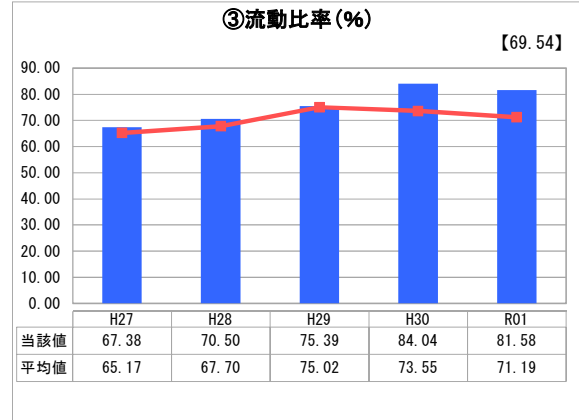
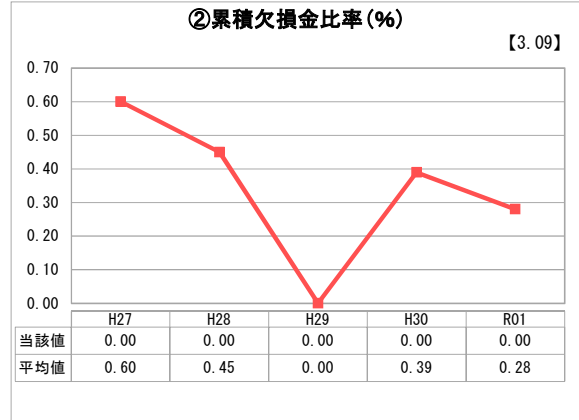
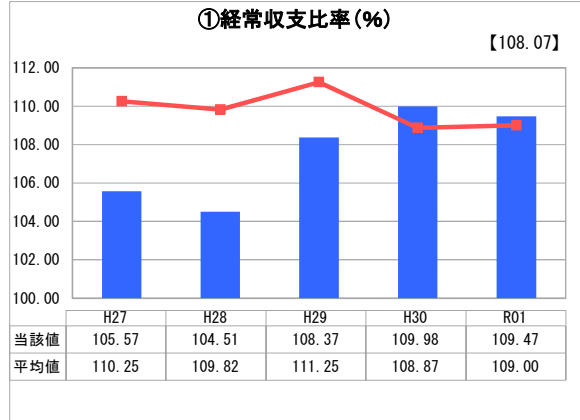
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	58.12	95.64	83.86	1,878

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
243,884	35.70	6,831.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
233,182	22.28	10,465.98

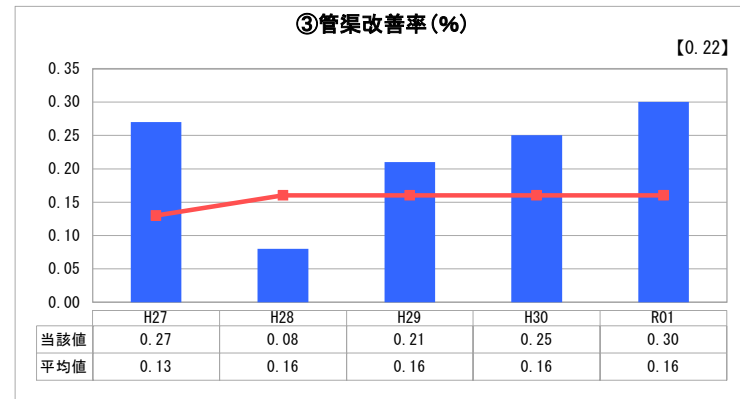
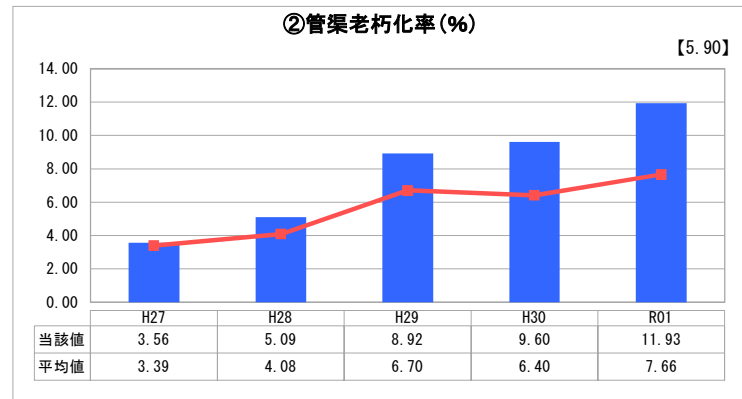
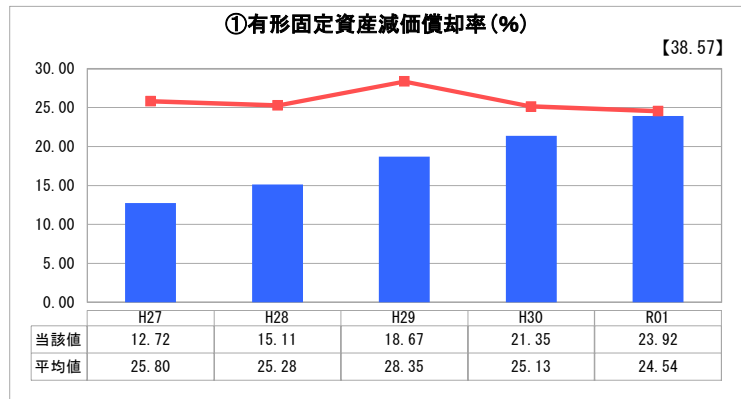
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を上回っており、累積欠損金比率が0%であることから、健全な経営を行っているといえます。  
 一方で、流動比率が100%を下回っており、将来的に人口減少に伴う下水道使用料収入の減少が予想されることから、短期的な支払能力に注視していく必要があります。  
 今後の状況によっては、料金改定等も視野に入れた経営改善を図っていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

昭和38年度に下水道整備を始め、当初に布設した管路は法定耐用年数である50年を超えています。管渠老朽化率は類似団体と比較するとやや高い水準にありますが、管渠改善率が類似団体を上回っていることから、適切な管渠の更新が進められているものと判断しています。  
 今後も茅ヶ崎市公共下水道施設維持管理計画に基づき、計画的・効率的な維持管理を進めていきます。

## 全体総括

経営の健全性や効率性は、各指標から比較的高い水準にあると考えられますが、布設管渠については、老朽化が急速に進行しています。  
 将来のリスクを回避するため、料金改定も視野に入れながら、茅ヶ崎市公共下水道経営戦略に基づく経営の効率化や、経営基盤の強化を進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。